

平成24年度予算要求に係る新規事業採択時評価

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業の概要

|           |   |       |            |      |                  |
|-----------|---|-------|------------|------|------------------|
| 事業名       | 一般国道55号 福井道路  | 事業区分  | 一般国道       | 事業主体 | 国土交通省<br>四国地方整備局 |
| 起終点       | 自：徳島県阿南市内原町桜木<br>至：徳島県阿南市福井町小野  | 延長    | 9.6 km     |      |                  |
| 事業概要      | 福井道路は、阿南安芸自動車道の一部を構成する阿南市内原町から同市福井町に至る延長約9.6 kmの自動車専用道路である。(阿南安芸自動車道は、徳島県阿南市から高知県安芸市に至る延長約110 kmの地域高規格道路であり、これまでに約14 kmが供用済み) |       |            |      |                  |
| 事業の目的、必要性 | 当該区間の整備により、東南海・南海地震による津波浸水被害に対するリダンダンシーが確保されるとともに、第三次医療施設等への救急搬送や、近畿圏或いは徳島中心部への地場製品の輸送における速達性の向上等が図られる。                       |       |            |      |                  |
| 全体事業費     | 約360億円  | 計画交通量 | 約12,500台/日 |      |                  |
| 事業概要図     |   |       |            |      |                  |

|                |   |
|----------------|---|
| 関係する地方公共団体等の意見 | <p>【徳島県知事】・予算化に同意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近い将来に予想される「東海・東南海・南海」三連動地震による津波被害を受けない緊急輸送道路確保などを図るために福井道路の整備促進が必要。</li> </ul> |
|----------------|---|

|                  |  |
|------------------|--|
| 学識経験者等の第三者委員会の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業化については妥当である。</li> <li>防災上のニーズや最新の技術を踏まえ、防災面で使いやすく、コストのかからない道路構造と運用を目指し、最大限の工夫に努めること。</li> </ul> |
|------------------|--|

|           |  |
|-----------|--|
| 事業採択の前提条件 | <p>費用対便益：便益が費用を上回っている</p> <p>手続きの完了：都市計画決定手続きの完了(平成22年4月30日)</p> |
|-----------|--|

事業評価結果

|        |             |  |   |   |              |
|--------|-------------|--|---|---|--------------|
| 費用対便益  | B/C         | 1.0  | 総費用：252億円<br>事業費：241億円<br>維持管理費：11億円  | 総便益：254億円<br>走行時間短縮便益：209億円<br>走行費用減少便益：30億円<br>交通事故減少便益：15億円   | 基準年<br>平成23年 |
|        | 感度分析の結果     | 交通量変動  | B/C=0.8 (交通量 -10%)  | B/C=1.1 (交通量 +10%)  |              |
|        |             | 事業費変動  | B/C=0.9 (事業費 +10%)  | B/C=1.1 (事業費 -10%)  |              |
|        | 事業期間変動      | B/C=0.9 (事業期間 +20%)  | B/C=1.1 (事業期間 -20%)   |   |              |
| 事業の影響  | 自動車や歩行者への影響 | 評価項目   | 評価  | 根拠  |              |
|        |             | 渋滞対策   | ○   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道等の時間損失の削減が見込まれる。</li> <li>【渋滞損失時間の改善】 約202万人時間/年 ⇒ 約156万人時間/年</li> <li>【1kmあたり渋滞損失時間】 約2.3万人時間/年km (H17現況) [センサス区間]</li> <li>全国平均：約1.9万人時間/年km (約1.2倍)</li> <li>徳島県平均：約1.6万人時間/年km (約1.4倍)</li> </ul> |              |
|        |             | 事故対策   | —   |   |              |
|        | 社会全体への影響    | 歩行空間   | ○   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間は、通学路に指定されているものの、幅員2m未満或いは歩道未設置の区間も存在。当事業により、通過交通や大型車交通が転換され、歩行者・自転車等交通弱者への安全性が向上する。</li> </ul>   |              |
|        |             | 住民生活   | ○   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三次医療施設(徳島赤十字病院等)への速達性が向上し、緊急車両による搬送等の向上が見込まれる。</li> <li>【第三次医療施設60分圏カバー人口(徳島県県南地域)】</li> <li>(整備前) 約1.0万人 ⇒ (既事業完了時) 約1.6万人 ⇒ (整備後) 約2.0万人</li> </ul>  |              |
|        |             | 地域経済   | ○   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市、京阪神方面等と県南地域との連絡時間を短縮し、地域の特産品である農産物、海産物等の流通利便性が向上。</li> </ul>  |              |
|        |             | 災害   | ◎   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南海・南海地震による津波浸水区域、冠水箇所及び災害危険箇所を回避することにより通行止めの危険性が解消し、災害時に機能する緊急輸送道路が確保される。</li> </ul>   |              |
|        | 環境          | —  |   |   |              |
|        | 地域社会        | ○  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西圏等との大消費地や徳島市中心部から県南地域を、高速道路と自専道で連絡することにより、地場製品の輸送向上等地域の活性化、交流圏の拡大が期待される。</li> </ul> |   |              |
| 事業実施環境 | ○           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年4月30日付け、都市計画決定済み。</li> <li>・徳島県知事や阿南市長等により積極的な要望活動が行われており、「命の道」として地元の期待は大きい。</li> </ul> |   |   |              |

採択の理由

|   |
|---|
| <p>費用便益比が1.0と、便益が費用を上回っていると同時に、都市計画手続が完了し、事業採択の前提条件が確認できる。</p> <p>また、住民生活や災害対応など、事業効果は高いと判断できる。</p> <p>以上より、本事業を平成24年度予算要求の新規事業箇所として要求する。</p> |
|---|

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

平成24年度予算要求に係る新規事業採択時評価(防災機能の評価)

担当課:道路局 国道・防災課  
担当課長名:三浦 真紀

1. 事業の概要

|      |  |        |       |      |                  |
|------|--|--------|-------|------|------------------|
| 事業名  | 一般国道55号 福井道路   | 事業区分   | 一般国道  | 事業主体 | 国土交通省<br>四国地方整備局 |
| 起終点  | 徳島県阿南市内原町桜木<br>～徳島県阿南市福井町小野  | 延長     | 9.6km |      |                  |
| 事業概要 | ・阿南安芸自動車道は、徳島県阿南市から高知県安芸市に至る延長約110kmの地域高規格道路であり、これまでに約14kmが供用済みである。<br>・福井道路は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で阿南市内原町と阿南市福井町を連絡し、今後30年以内に60%で発生が予想されている東南海・南海地震による津波浸水被害が予測される地域に対し、リダンダンシーを確保すると共に、第三次医療施設等への救急搬送や、近畿圏或いは徳島中心部への地場産品の輸送について、速達性の向上が期待される。 |        |       |      |                  |
| 目的   |  |        |       |      |                  |
| 事業費  | 約360億円   | 3便益B/C | 1.0   |      |                  |

2. 必要性の評価

(1) 課題の整理

| 評価項目         | 当該事業地域の課題・上位計画等   |   | 評価 |
|--------------|---|---|----|
| 防災・災害時の救助活動等 | <p><b>【i】緊急輸送物資の円滑な輸送の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>阿南市内の国道55号が津波浸水想定区域に含まれるため、浸水する可能性があり、孤立・迂回が発生</li> <li>徳島小松島港(重要港湾)への連絡が途絶するなど緊急輸送物資が送れない恐れ</li> </ul> <p><b>【ii】減災対策への取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現道は津波浸水や、落石、土砂崩れ等の恐れがあり、災害時に機能する緊急輸送道路が未確保</li> </ul>   | <p>※四国圏広域地方計画</p> <p>「四国圏は、地形的特性や台風常襲地帯に位置していることなどから、毎年のように水害、土砂災害、高潮災害等が発生しているとともに、近い将来、東南海・南海地震とこれによる津波の発生が想定されており、これらの災害に対応しうる防災力の向上が急務となっている。」</p> <p>※高速道路のあり方検討有識者委員会・緊急提言</p> <p>「広域的な幹線道路ネットワークについては、地域の孤立化や多重性の欠如など災害面からの弱点を再点検し、その克服に向けて、ミッシングリンクの解消や隘路区間の改良など効果的な手法を選択し、緊急性の高い箇所から重点的に強化を行う必要がある。」</p> | ◎  |
| 住民生活         | <p><b>【i】救急医療施設への速達性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿線の三次救急医療施設は徳島市、小松島市のみであり、高次医療施設への速やかな搬送ルート確保が必要不可欠</li> </ul> <p><b>【ii】他の交通機関への利便性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿線地域から広域交通拠点である徳島阿波おどり空港等への時間距離が長く、連絡性向上が課題</li> </ul> <p><b>【iii】公共公益施設等への利便性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県南地域から防災拠点等となる南部総合県民局がある阿南市への距離が長く、連絡性向上が課題</li> </ul> | <p>※四国圏広域地方計画</p> <p>「一部の中山間地域等では婦人課医や小児科医が地域に存在しないといった状況も生じてきており、医療サービス、公共交通サービスの維持・確保が困難となってきたり、圏域内において格差が生じてきている。」</p> <p>「交通ネットワーク基盤の強化や他圏域へのアクセス性の向上等を通じて、さらなる交流の活性化を推進する取組を重点的に進めることが重要である。」</p>  | ○  |
| 地域社会<br>地域経済 | <p><b>【i】周辺市町村との連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>阿南市～美波町間の現道区間は、線形不良などの課題により地域間の連携に支障をきたす</li> </ul> <p><b>【ii】産業拠点の分断防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業・漁業等の拠点である徳島県南地域から大規模消費地への供給が安定的にできなくなることや線形不良区間を通行することによる荷傷み等商品価値が低下する恐れ</li> </ul>  | <p>※四国圏広域地方計画</p> <p>「四国圏が自立し持続的に発展していくためには、交流人口を増やすとともに、住みやすい、住みたくなる地域とすることが重要であり、そのためには、圏域の活力や魅力を高め、地域力を向上させる必要がある」</p> <p>「四国が一体となって圏域内の結びつきを強化し、他圏域や国外とも交流を促進しなると活力向上は望めない」</p> <p>※高速道路のあり方検討有識者委員会・緊急提言</p> <p>「主要な市街地や交通拠点と高速道路のアクセス強化、簡易なICの増設等による地域との連絡強化などのネットワーク機能の向上」</p>                             | ○  |
| その他          | -   |   |    |

(2) 事業の必要性

東南海・南海地震における緊急輸送道路の確保、地域産業(観光)の活性化の支援、平常時も含めた救急搬送のための速達性の確保といった様々な課題に対応するため、事業の必要性があるものと評価する。

3. 有効性の評価

(1) ネットワーク上のリンクとしての評価

| ①主要都市・拠点間の防災機能の向上 |           |         |          |    |
|-------------------|-----------|---------|----------|----|
| 区間                | リンクの評価    |         | 効果       | 評価 |
|                   | 現状(整備前)   | (目標)整備後 |          |    |
| 阿南市(重要港湾)         | 美波町(主要都市) | D       | (B)<br>B | ◎  |

・現道は津波浸水区域が存在し、津波浸水により通行止めとなる可能性が高い。(Dランク)  
・津波浸水区域を避けて計画されている本道路は、大規模地震時の通行止めを回避できることから、当該リンクの災害危険性のないBランクに改善され、地域の孤立も解消。

②ネットワーク全体の防災機能の向上

| リンクの評価           |          |                      | 効果  | 評価 |
|------------------|----------|----------------------|---|----|
| 弱点度(整備前)         | 弱点度(整備後) | 改善度                  |   |    |
| 当該リンクが遮断され不通(oo) | 0.5      | 当該リンクの整備により不通が解消(oo) | 当該リンクの整備により、阿南市から美波町間の災害時の不通が解消することにより、ネットワーク全体の防災機能向上。 | ◎  |

(2) 当該事業としての評価

| 評価項目         | 事業による効果  | 評価 |
|--------------|--|----|
| 防災・災害時の救助活動等 | <p><b>【i】緊急輸送物資の円滑な輸送の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津波浸水箇所を回避し、緊急時の救援物資輸送の拠点となる徳島市までの連絡時間を短縮。<br/>徳島市～美波町役場：75分→49分(26分短縮)<br/>うち当該事業：75分→68分(7分短縮)</li> </ul> <p><b>【ii】減災対策への取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津波浸水や冠水区間の影響を受けない位置に計画するなど、緊急輸送道路としてのリダンダンシーを確保</li> </ul>  | ◎  |
| 住民生活         | <p><b>【i】救急医療施設への速達性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負傷者受け入れの拠点となる徳島赤十字病院への救急搬送の速達性が向上し、60分カバー圏人口が拡大<br/>牟岐町役場～徳島赤十字病院(災害拠点病院)：78分→57分(21分短縮)<br/>うち当該事業：64分→57分(7分短縮)</li> <li>三次救急医療施設の60分カバー圏人口：約4,000人増加</li> </ul> <p><b>【ii】他の交通機関への利便性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県南地域から広域交通拠点へのアクセス向上<br/>美波町～徳島阿波おどり空港：98分→51分(47分短縮)<br/>うち当該事業：98分→91分(7分短縮)</li> </ul> <p><b>【iii】公共公益施設等への利便性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県南地域から公共公益施設へのアクセス向上<br/>南部総合県民局～美波町役場：32分→30分(2分短縮)<br/>うち当該事業：32分→30分(2分短縮)</li> </ul> | ○  |
| 地域経済<br>地域社会 | <p><b>【i】周辺市町村との連携の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>阿南市から美波町間において高速道路が連続するとともに線形不良箇所(14箇所※)等を回避でき所要時間短縮が図られることから各地域の広域的な連携に貢献<br/>※日和佐道路並行区間の現道を除く数値</li> </ul> <p><b>【ii】産業拠点の分断防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島市、京阪神方面等への地域の特産品である農産物、海産物を安定的に供給することが可能となることや連絡時間を短縮し流通の利便性が向上</li> </ul>   | ○  |
| その他          | -  |    |

(3) 事業の有効性

・当該事業の実施により、ネットワーク上のリンクの評価がDランク→Bランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。  
・孤立箇所の削減など津波への適応性が改善するとともに、速達性の向上により、救急搬送の改善(三次救急医療施設60分圏域人口が0.4万人増)や地域間の連携が促進されるなど、有効性の高い事業と評価する。

#### 4. 事業実施環境・第三者意見

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 事業実施環境                       | <ul style="list-style-type: none"><li>・平成22年4月30日付け、都市計画決定済み。</li><li>・徳島県知事や阿南市長等により積極的な要望活動が行われており、「命の道」として地元の期待は大きい。</li></ul> |
| 徳島県                          | 当該区間の新規事業化と事業推進を強く希望します。  |
| 社会資本整備審議会<br>道路分科会<br>事業評価部会 | 「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。   |
| 社会資本整備審議会<br>地方小委員会          | 「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。   |

#### 5. 対応方針

・当該事業により、徳島県県南地域のネットワークが強化され、阿南市～美波町における幹線道路の信頼性や速達性が向上することや、緊急輸送等の円滑化が可能となり、迅速な復旧活動や被災地域の復興を支援すること、さらにミッシングリンクの解消や各地域の広域的な連携に貢献等が認められることから、防災機能の評価結果も踏まえ当該事業の必要性・有効性は高いと判断できる。  
以上より、本事業を平成24年度予算要求の新規事業箇所として要求する。